

スライドドア

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等への危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- 門扉は人や車が入り出すためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>



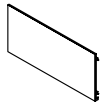
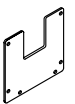
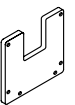
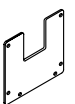
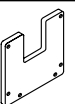



注意




- 施工時には、水系等を用いて柱の位置を決めてください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

■梱包明細表

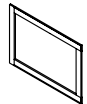
①柱セット

名称	略図	員数
ガイド柱		1
戸当り柱		1
ローラーカバー		2
ローラーキャップ金具A		3
ローラーキャップA		3
ローラーキャップ金具B		1
ローラーキャップB		1
注意シール		1

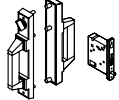





①柱セット つづき

名称	略図	員数
調整用補助スパナ		2
アンカー棒		3
①-① φ4×25トラスネジ		24
取付説明書	—	1
取扱説明書	—	1

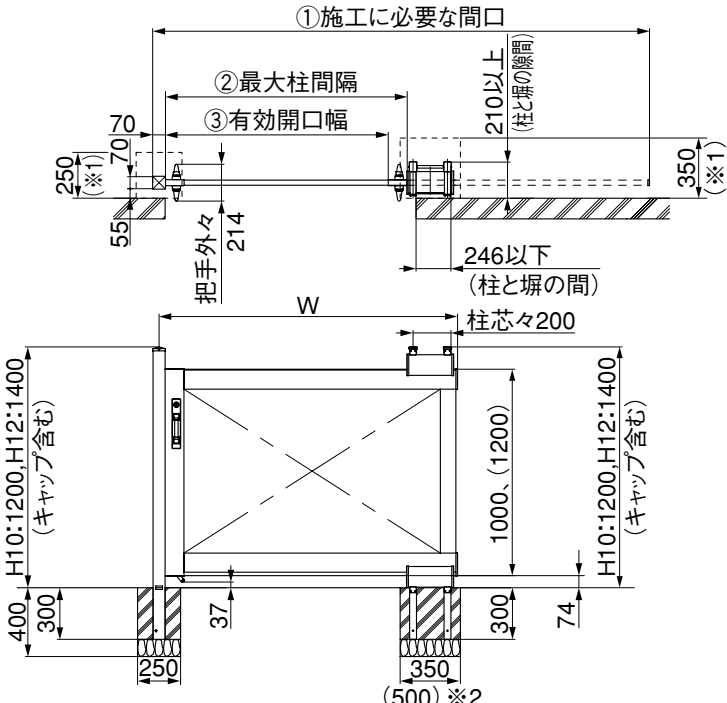
②門扉セット

名称	略図	員数
本体パネル		1

③錠セット

名称	略図	員数
錠セット		1
ストライクセット		1
キー		3
③-① φ4×20サラネジ		2
③-② スピードナット		2
③-③ M5×45サラ小ネジ		2

1. 施工寸法



①施工に必要な間口
②最大柱間隔
③有効開口幅

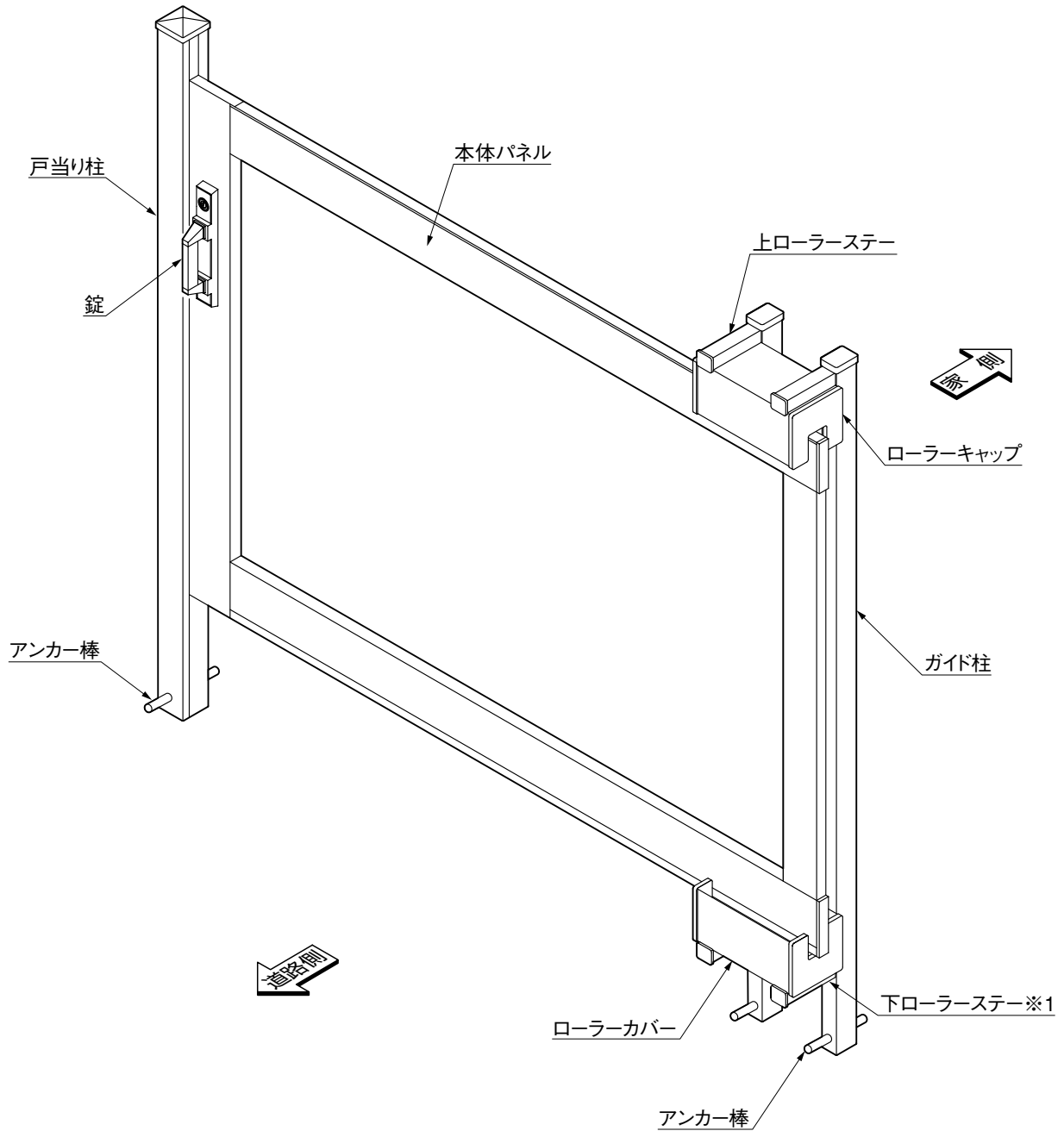
250 (※1)
70
55
70
214
246以下 (柱と塀の間)
柱芯々200
210以上 (柱と扉の隙間)
350 (※1)
W
H10:1200, H12:1400 (キャップ含む)
1000、(1200)
300
37
74
350
(500) ※2

施工寸法表

W	①	②	③
1200	2054	920	755
1500	2654	1220	1055
1700	3054	1420	1255

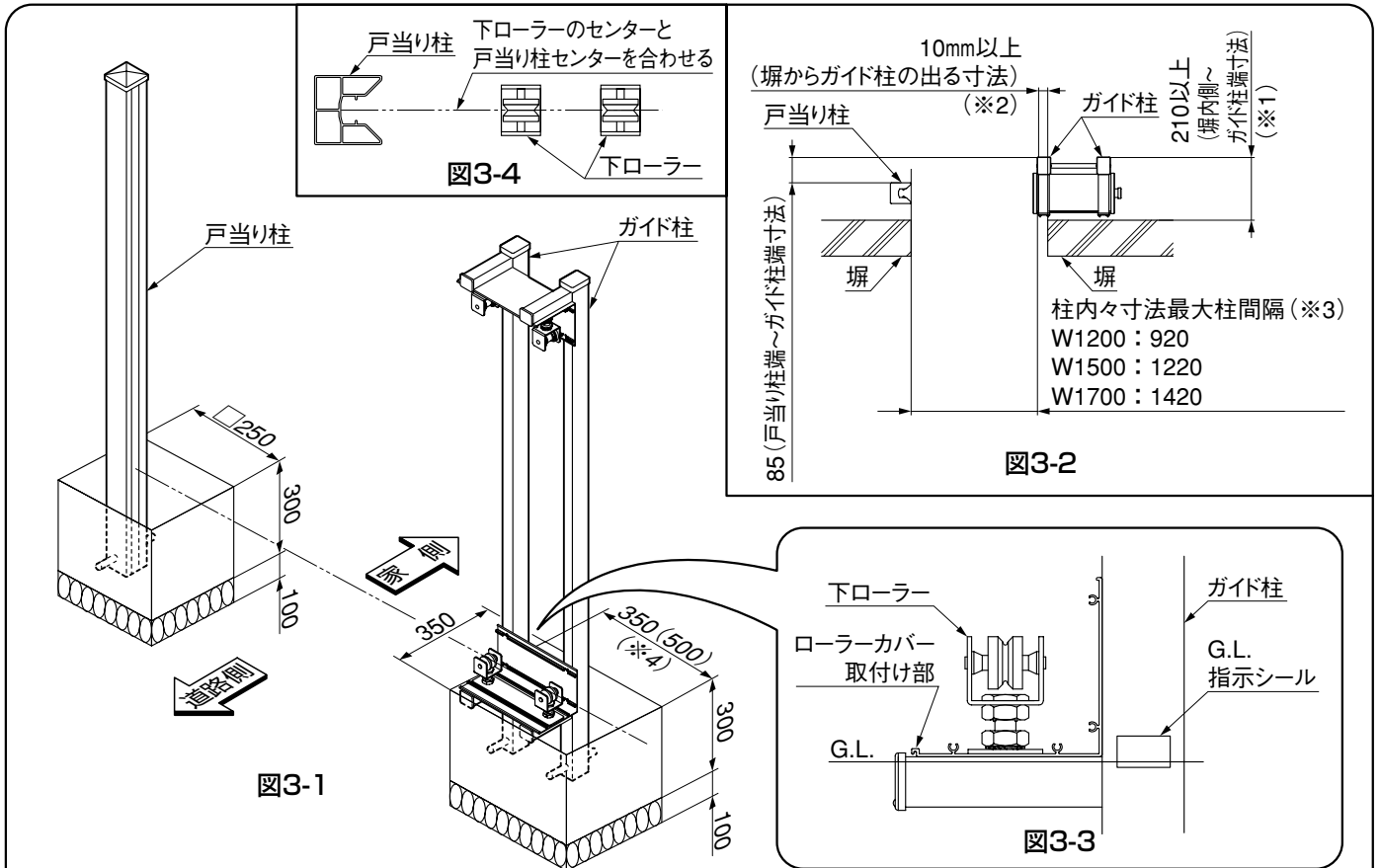
※1の寸法は基礎の奥行き寸法です。
※2の()寸法はW1500、1700の場合の基礎幅です。

2. 各部の名称



※1 下ローラーステーは本来、地下に埋込まれるため、実際には見えません。

3. 柱の施工



① ガイド柱と戸当り柱を図3-1・図3-2のとおり施工してください。

⚠ 注意

- ガイド柱は塀端部より10mm以上外側に出して施工してください。塀端部より内側に施工すると、本体パネルの錠が塀にあたるため、有効開口幅を得られず、また開閉時にケガをするおそれがあります。(図3-2 ※2)
- 戸当り柱は塀より内側に施工しないでください。塀端部より内側に施工すると、本体パネルの錠が塀にあたるため、有効開口幅を得られず、また開閉時にケガをするおそれがあります。(図3-2参照)

✎ 補足

- アンカー棒を必ず取付け、垂直を出して施工してください。
- 塀の裏側に設置する場合はガイド柱を塀より210mm以上離して塀と平行に設置してください。本体パネルを取付けることが出来なくなる場合があります。(図3-2 ※1)
- 塀に凹凸がある場合や、本体パネルを平行にスライドすることが出来ない敷地では、ガイド柱をさらに15mm以上離し、余裕を持って本体パネルをスライドできるようにあわせてください。
- 柱の埋込みはG.L.指示シールを必ず守ってください。ガイド柱をG.L.指示シールより深く埋込むと下ローラーの調整、ローラーカバーの取付け・交換が出来なくなります。(図3-3参照)
- 柱の内々寸法は必ず最大柱間隔以内に納めてください。これより広いと錠がかからなくなります。(図3-2 ※3)
- ガイド柱の2個の下ローラーのセンターの延長線上に戸当り柱の中心があることを確認してください。センターが合わない場合、本体パネルが戸当り柱に納まらなくなります。(図3-4参照)
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(図3-1参照)
- 柱基礎には必ず割りぐり石を敷き、十分つき固めてください。
- 基礎の () 寸法は、W1500、1700の場合の寸法です。(図3-1 ※4)

4. 下ローラーの調整

4-1 下ローラーの調整方法

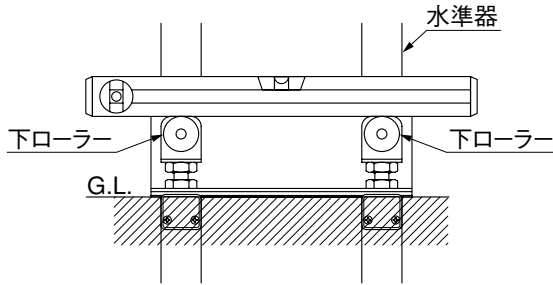


図4-1

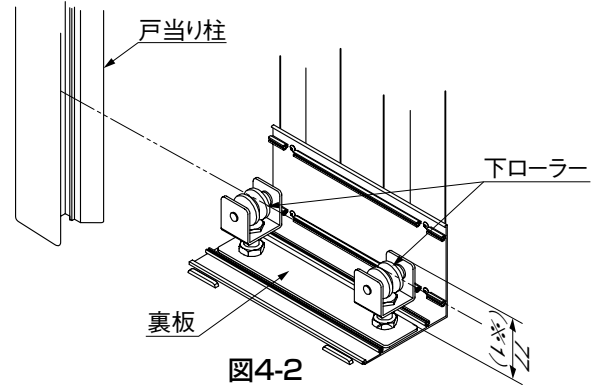


図4-2

- ① 最初に下ローラーの上に水準器等を置き、水平確認を行なってください。（図4-1参照）
- ② また裏板から下ローラー上面の高さが77mmかどうか測定してください。（図4-2 ※1）
水平でない場合、また、高さが違う場合は、ローラーを調整してください。

4-2 ローラーの調整方法

※ローラーが水平でない場合、高さが違う場合のみ行なってください。
※柱セット同梱のスパナは調整用スパナです。上ナット、下ナットを緩める時と固定する時は一般的なスパナで行なってください。

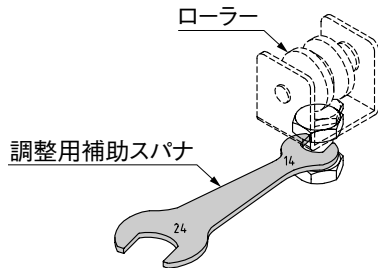


図4-3

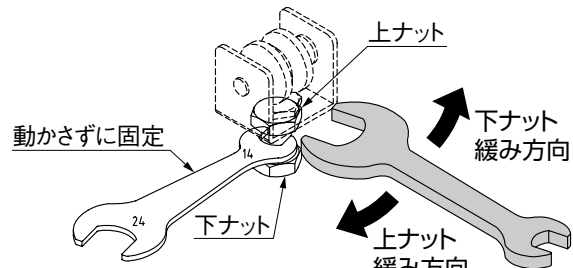


図4-4

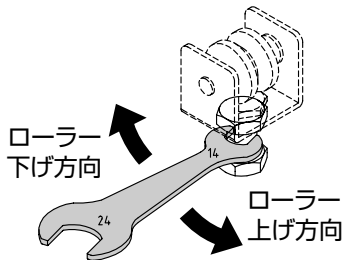


図4-5

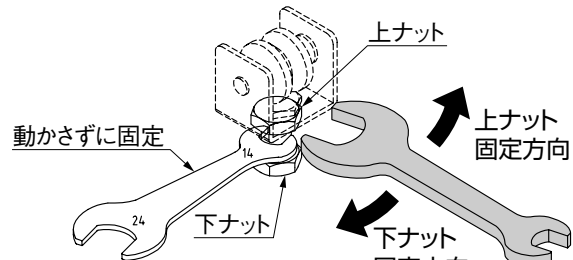


図4-6

- ① 調整用補助スパナの対辺14側を、下ローラーのシャフト部に差し込んでください。（図4-3参照）
- ② ①の状態、上ナット・下ナットをスパナの対辺24側で緩めてください。（図4-4参照）
- ③ ①で差し込んだ対辺14スパナでシャフトを回転し、上下調整を行なってください。（図4-5参照）
- ④ 調整が終わったら、対辺14スパナを差し込んだまま対辺24側で上ナット・下ナットを仮固定してください。（図4-6参照）
- ⑤ ローラーの水平・高さを再度確認してください。

補足

- 上ナット、下ナットは、締める方向は緩める方向と逆回転です。
- 本体パネルを吊込み後、本体パネルを開閉して本調整を行ないますのでローラーは仮固定にしてください。
- スムーズな本体パネルの開閉のため、ローラーの水平・高さの調整は正確に行なってください。
- 調整用補助スパナはローラーの上下調整用に使用してください。

5. パネルの吊込み

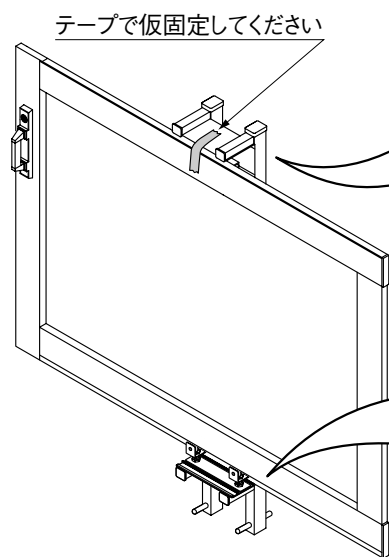


図5-1

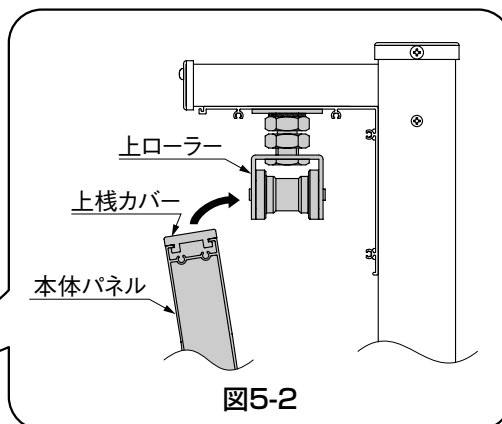


図5-2

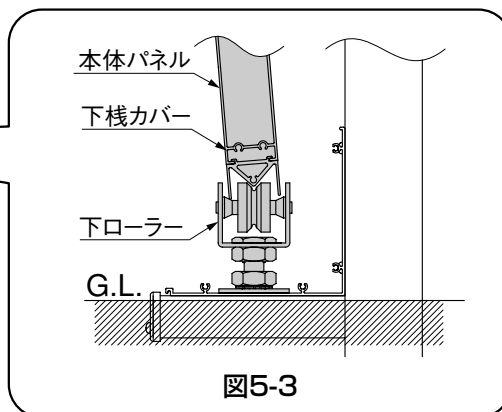


図5-3

- ❶ 下ローラーの上に、図5-3のように本体パネルを乗せてください。
- ❷ 上ローラーの下に本体パネルの上棧カバーがくるよう本体パネルを納めてください。（図5-2参照）

⚠ 注意

- このとき、上棧カバーがキズ付かないよう注意してください。

✎ 補足

- 出荷時には、上ローラーは本体パネルが納まる高さの状態になっていますが、下ローラーの施工状態により本体パネルが納まらない場合があります。その際は先に「6.上ローラーの調整方法」を参考に上ローラーを一旦上げてから、本体パネルを納めてください。

- ❸ 本体パネルの中央部分で仮固定してください（図5-1参照）

6. 上ローラーの調整

※柱セット同梱のスパナは調整用スパナです。上ナット、下ナットを緩める時と固定する時は一般的なスパナで行なってください。

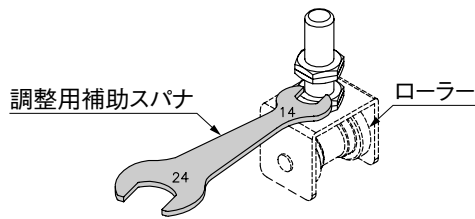


図6-1

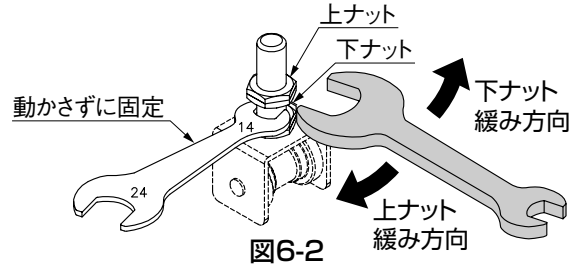


図6-2

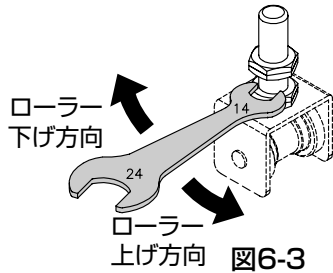


図6-3

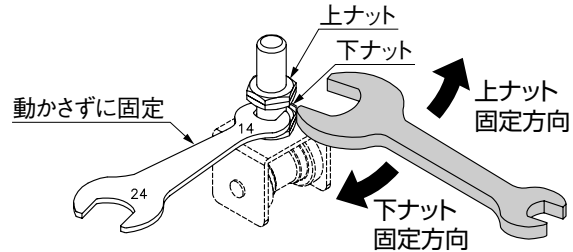


図6-4

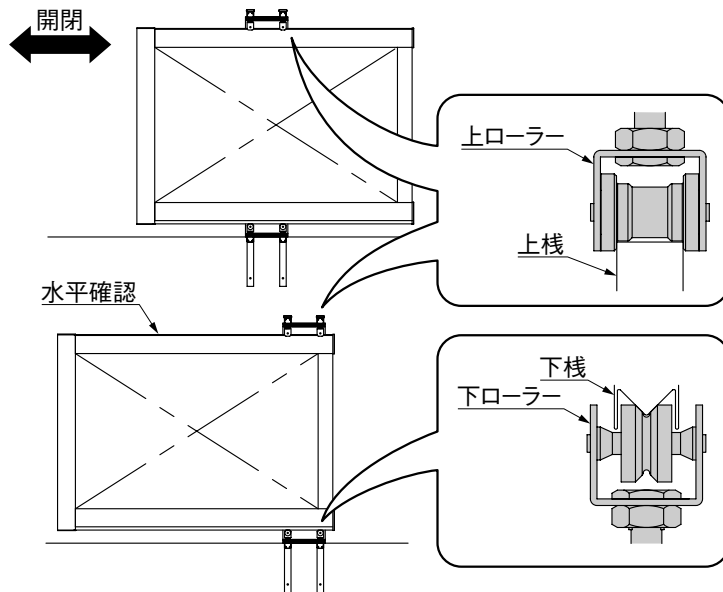


図6-5

- ① 調整用補助スパナの対辺14側を、上ローラーのシャフト部に差込んでください。(図6-1参照)
- ② ①の状態、上ナット・下ナットをスパナの対辺24側で緩めてください。(図6-2参照)
- ③ ①で差込んだ対辺14スパナでシャフトを回転し、上下調整を行なってください。(図6-3参照)
- ④ 調整が終わったら、対辺14スパナを差込んだまま対辺24側で上ナット・下ナットを仮固定してください。(図6-4参照)

補足

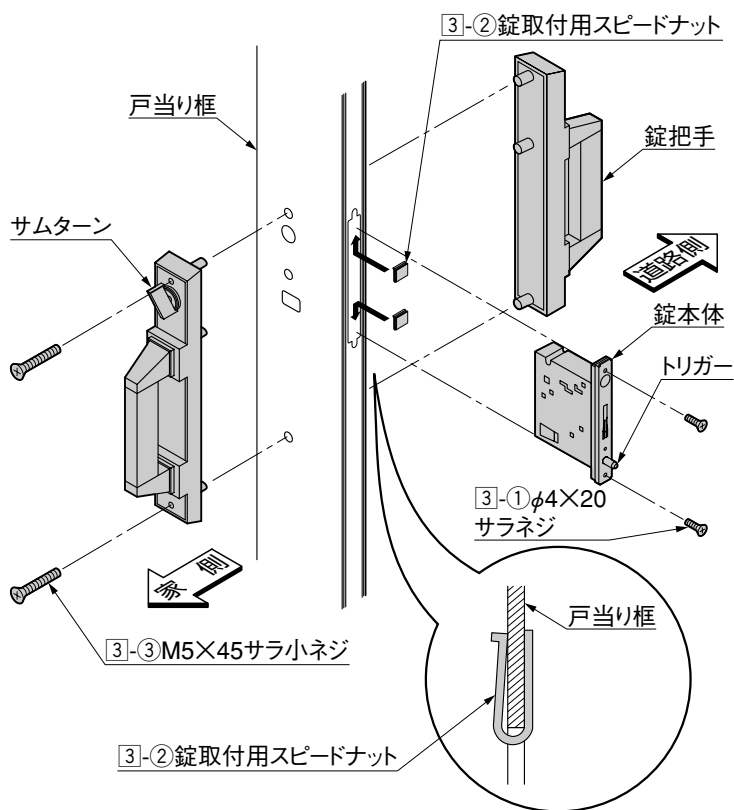
- 上ナット、下ナットは、締める方向は緩める方向と逆回転です。
- 錠取付後、再度本体パネルを開閉して本調整を行ないますのでローラーは仮固定にしてください。
- 調整用補助スパナはローラーの上下調整用に使用してください。

- ⑤ 仮固定していたテープを外し、本体パネルを開閉し、開閉がきつくないか、また水平かどうか確認してください。(図6-5参照)

ポイント

- 開閉がきつい場合：ローラーと本体パネルのすき間が少なすぎる→上ローラーを調整し、すき間を増やしてください。
- 閉めた時に本体が下がる：ローラーと本体パネルのすき間が広すぎる→上ローラーを調整し、すき間を小さくしてください。

7. 錠の取付け



① 戸当り框に③-②を取付けてください。

ポイント

- ③-②を切欠き部にはさみこむように取付けてください。
- 小さい部品ですので紛失しないように気を付けてください。

② 錠本体を③-①で取付けてください。

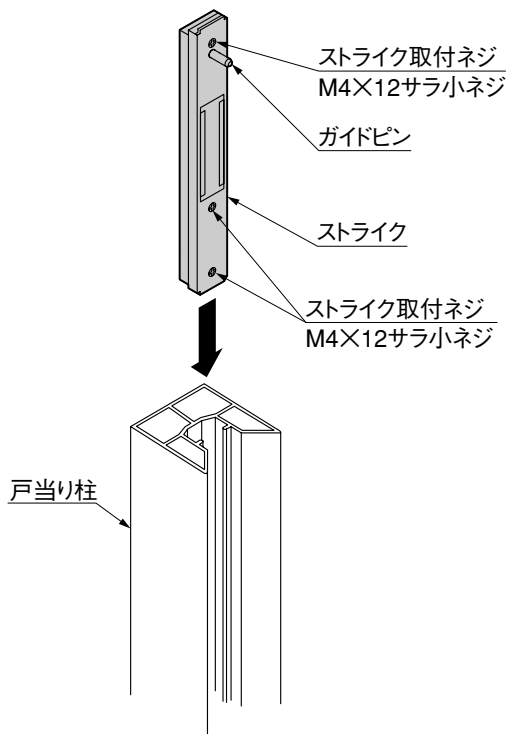
③ 錠把手を③-③で取付けてください。

ポイント

- 必ずサムターンが付いている錠把手が家側にくるように取付けてください。

※本図は右開きです。

8. ストライクの取付け



① 戸当り柱の柱キャップを一旦外し、ストライク取付ネジを一旦緩めてストライクを挿入してください。

② ストライクを適当な位置で仮固定してください。

③ 本体パネルをゆっくり閉めながらストライクのガイドピンと錠にあいている受けがかん合する位置にストライクを上下調整してストライク取付ネジで固定してください。

9. 建て付け調整

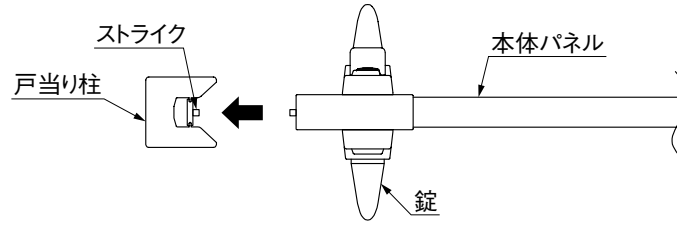


図9-1

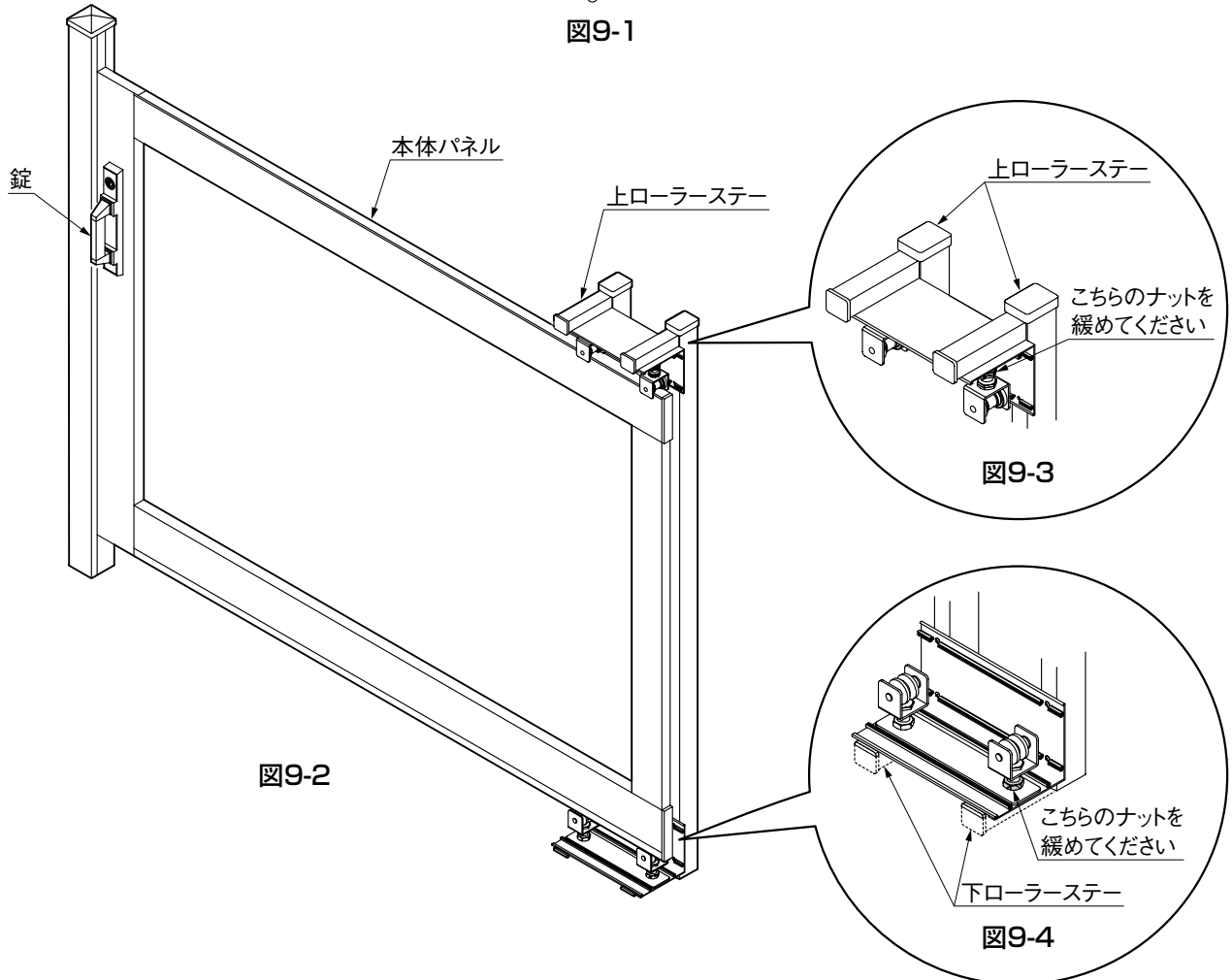


図9-2

図9-3

図9-4

- ❶ 本体パネルを開閉し、錠が戸当り柱にまっすぐに納まるかどうか確認してください。(図9-1参照)
- ❷ まっすぐに納まらない場合は、シャフトにスパナの対辺14側を差込んで固定し、スパナの対辺24側で上下ローラーのローラーステー側のナットを緩めてください。(図9-3、図9-4参照)
- ❸ 本体パネルを開閉し、錠をストライクに納めてください。
- ❹ ストライクに納まる位置で上下ローラーのナットをしっかりと固定してください。

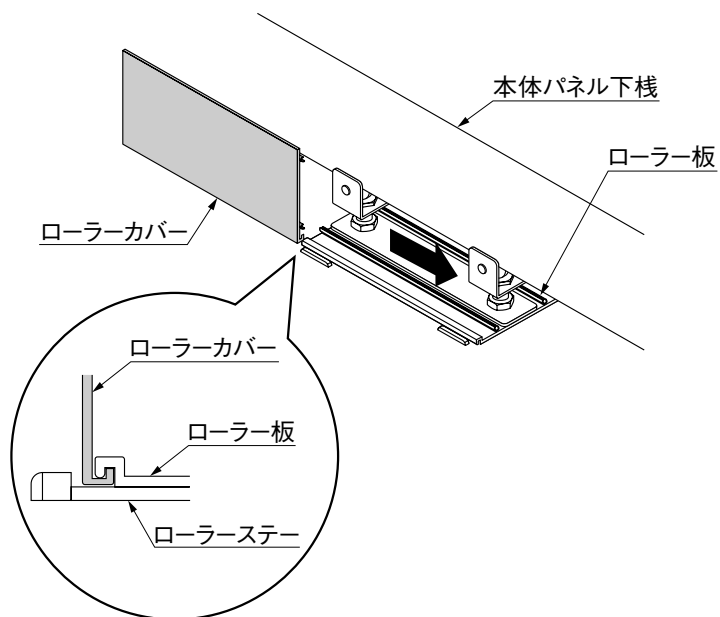
⚠ 注意

- 今まで仮固定していたローラーのナットを全てしっかりと締めて固定してください。ナットの固定が不十分だとローラーが緩み、本体パネルの開閉に支障をきたすおそれがあります。

🔑 ポイント

- ナットを緩める時や固定する時は一般的なスパナで行なってください。

10. ローラーカバーの取付け



- ① ローラーカバーをローラー板の溝に差込んでください。

補足

- ローラーカバーは上ローラー、下ローラーの両方につきます。

11. ローラーキャップの取付け

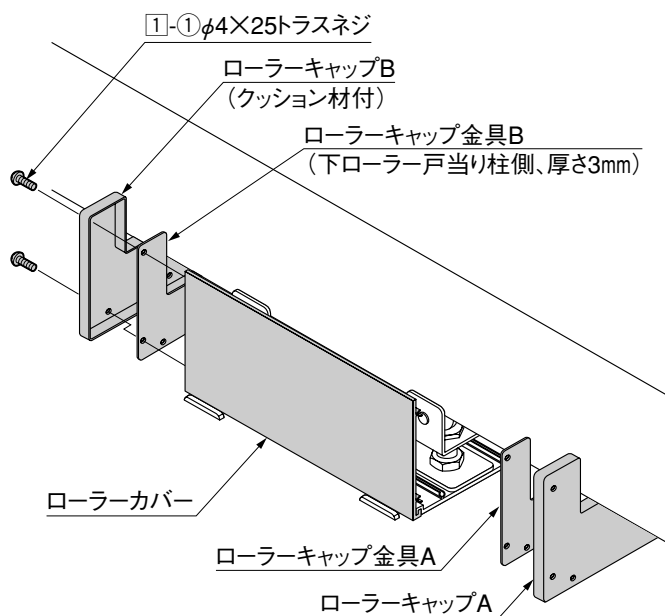


図11-1

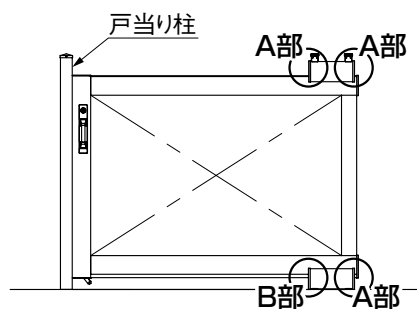


図11-2

- ① ローラーキャップA,Bおよびローラーキャップ金具A,Bをローラーカバーに①-①で固定してください。(図11-1参照)

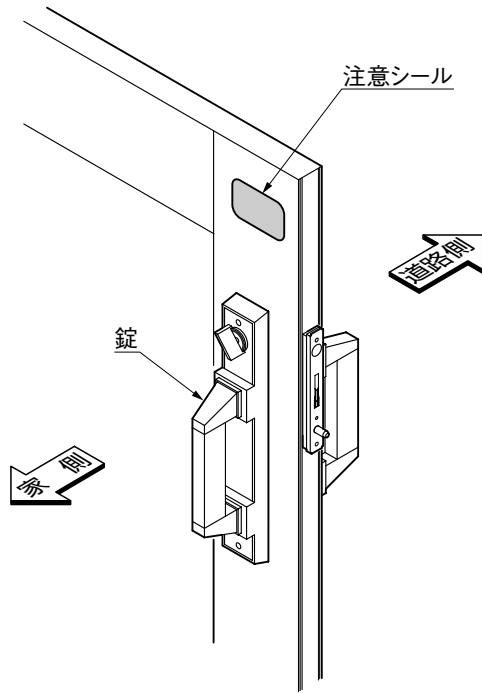
補足

- ローラーキャップA・ローラーキャップ金具Aは上下左右各1個ずつ計3セット使います。(図11-2 A部)

ポイント

- ローラーキャップB、ローラーキャップ金具Bは下ローラーの戸当り柱側に使ってください。(図11-2 B部)

12. 注意シールの貼付け



- ① 施工終了後、注意シールを框の上部、錠付近（施主様がよく見える位置）に貼付けてください。

13. 納り図

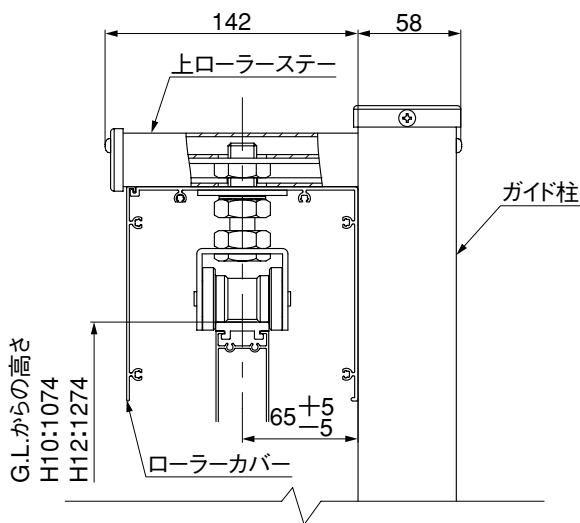


図13-1 上ローラー納り図

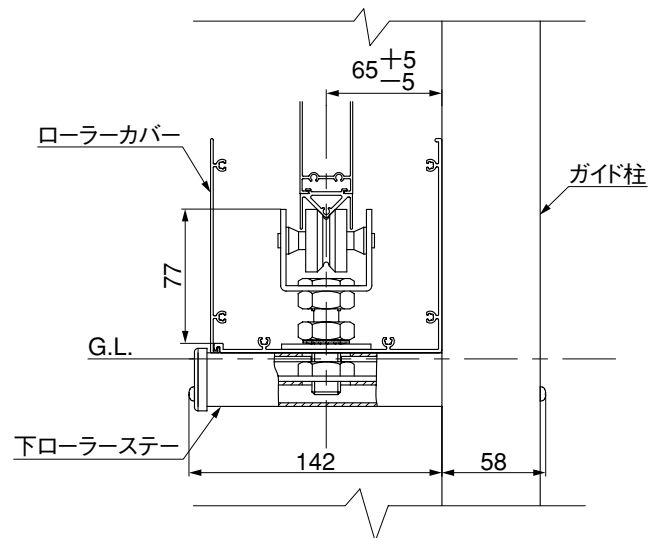


図13-2 下ローラー納り図

INDEX